

西洋美術史の導入者

澤木 四方吉

さわき よもきち

出身地 男鹿市

1886年（明治19年）～1930年（昭和5年）

ミュンヘン大学に留学。慶応義塾大学文学部美術史科の教授、西洋美術史を初めてわが国に導入。

『美術の都』を著し、ミロのヴィーナスの紹介者としても知られる。『三田文学』の2代目主幹。



年譜

- 1886年 男鹿市に生まれる。
- 1909年 慶応義塾大学部卒業、同普通部教員。
- 1912年 慶応義塾海外留学生として渡欧。
- 1913年 ドイツ・ミュンヘン大学入学。
- 1916年 慶応義塾で美学を担当。『三田文学』主幹。
- 1917年 『美術の都』を出版。
- 1919年 東京帝国大学文学部講師、美術史を担当。
- 1920年 慶応義塾大学文学部美術史科教授。
- 1922年 三田芸術学会を発足させる。
- 1930年 神奈川県で没。43歳。